



岐阜県PTA連合会では、発達障がいへの理解を深める活動に取り組んでいます。
第1弾として、まずは「発達障がいの概要」についてわかりやすくお伝えします。

発達障がいのお話です。

ADHD
学習障がい
アスペルガー症候群
自閉症
自閉症スペクトラム障害
など

よく見られる特性

人と関わることが苦手／動きが多く落ち着きがない／集団行動ができない／こだわりが強い／指示が理解できない／学習に何らかのつまずきがある



とっても詳しい学校の先生



最近、テレビでも話題になってるよね

発達障がいのある子はまわりの子になかなか理解されないことが多いので、学校で苦しい思いをしています。そして、だんだん自信を失くしてしまつ子もいます



がんばりが足りないように見られて家族も本人もつらい思いをしていることも多いです。



育て方が悪いんじゃない？
わがまま！
あいつ、ズルしてる
空気を読めんやつ！

いろいろと誤解されてるみたい



でもでも！
発達障がいがあったら何かしてくれるの？
学校は？！

してますともー！



いま、学校は発達障がいに限らず、困難を抱える子に対してこんなことをしています。

学校では

児童生徒を支援する先生が付く場合があります

その子に合わせた「教育支援計画」を学校と保護者で作ります

コミュニケーションの練習をします
今の私の気持ちはです
あ、そう

通級指導教室
通常学級から週に数時間だけ離れ、その子の特性に合わせた学習をします



落ち着いた環境でその子に合った学習方法で力をつけます

合理的な配慮
その子に困難なことを、できるかぎり配慮します
たとえば
○マスを大きくしたノートを活用
○机の位置を配慮する等
子どもに合った配慮を！

☆必要があれば、地域の特別支援学校のセンター的機能を利用します。
地域にある様々な教育資源を活用し、その子に応じた支援ができるよう努力しています。

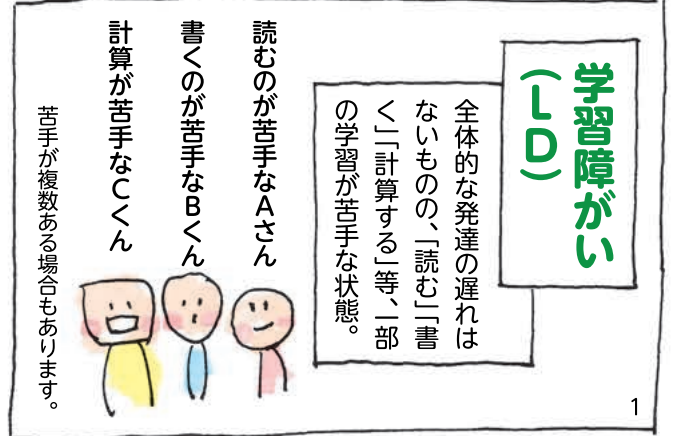
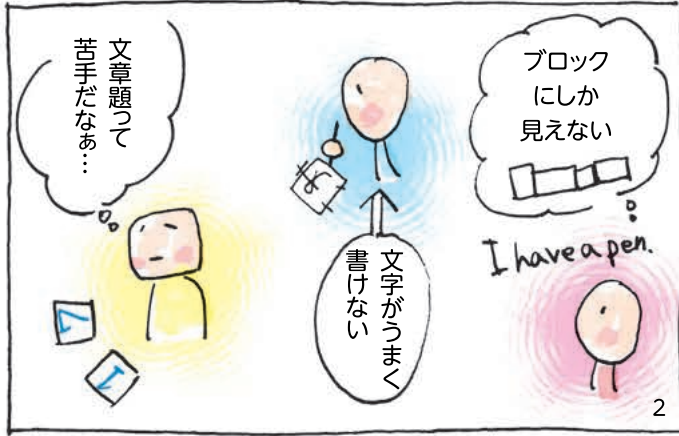
一人のために「みんなにも考えてもらえるなんていい時代になったなあ……」
障がいのある子を特別扱いしてきりかへてきたのは、
障がいのある子もいない子もそれぞれの子に合った対応を……
「インクルーシブ教育」というんだって。





「発達障がいへの理解を深める」第2弾

発達障がいの中でも特に理解が遅れている、「学習障がい(LD)」についてお伝えします。

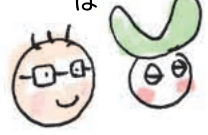


困っているのはあなただけじゃない。同じ悩みを抱えている人はいます。今よりもっと楽に勉強する方法、いろいろあります。

まずは相談してみてください！

LDかな？と思う人に伝えたいこと。

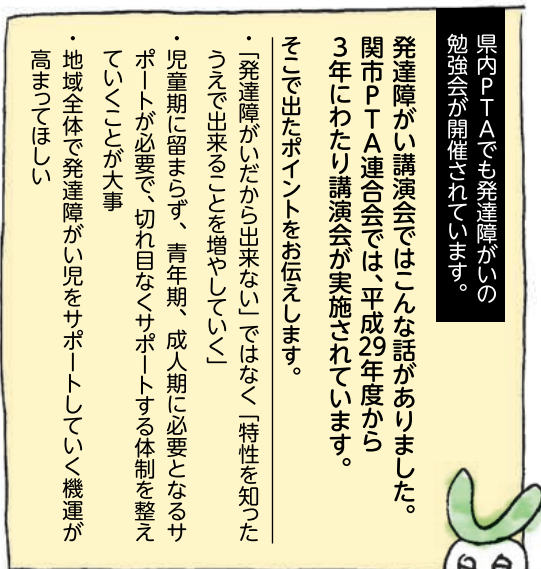
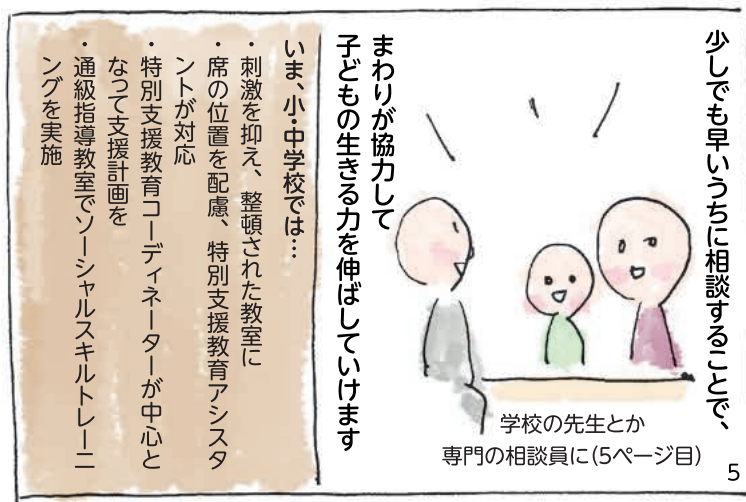
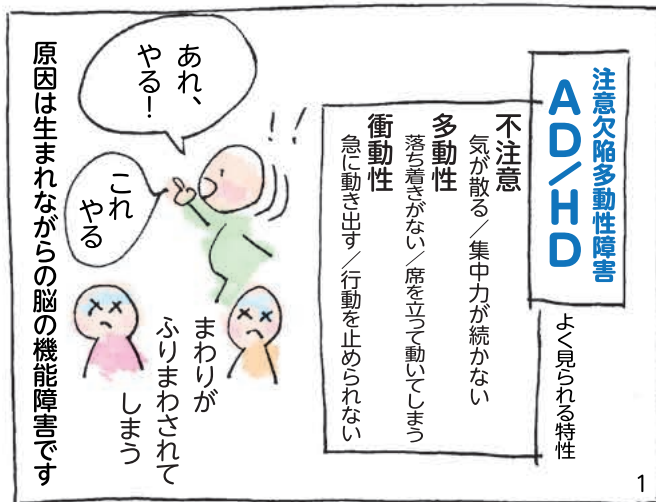
LDの子に分かりやすい授業はほかの子にとっても分かりやすい授業なんです



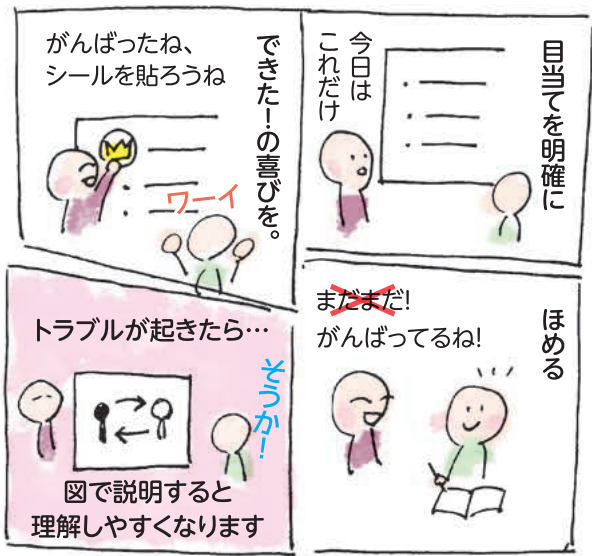


「発達障がいへの理解を深める」第3弾

落ち着いていることが苦手で、まわりとのトラブルが起きやすい「AD/HD」についてお伝えします。



参考になる本・web
 『ADHD及びその周辺の子どものたちー特性に対する対応を考える』同成社
 『AD/HDのすべてがわかる本』市川宏伸監修 講談社
 『アスペルガー・ADHD発達障害シリー別解説ガイドブック』司馬美子著 主婦の友社
 ウェブサイト『LITTA LICOリタリコ』

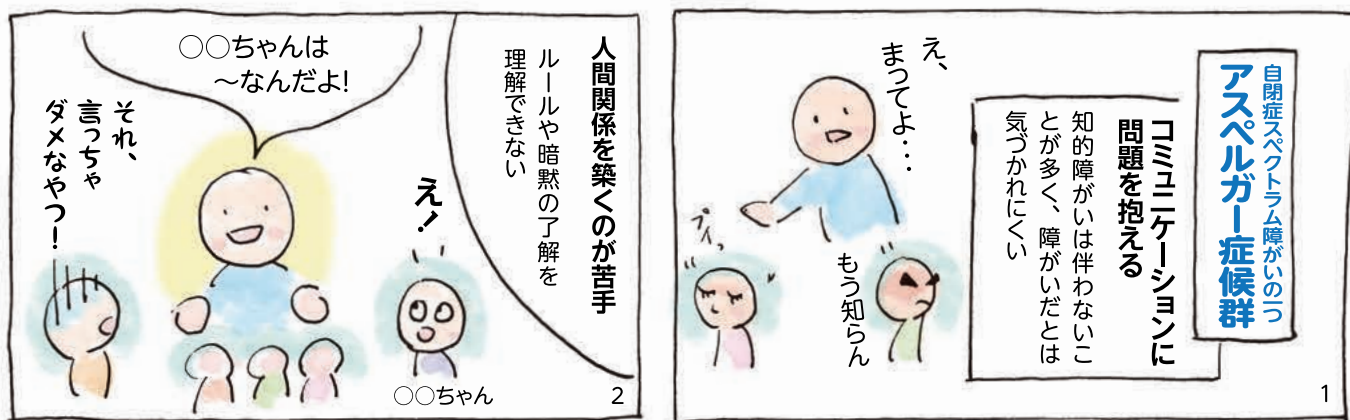


まわりが協力できること



「発達障がいへの理解を深める」第4弾

コミュニケーションが苦手で、良好な人間関係を築くのが難しい「アスペルガー症候群」についてお伝えします。



学校組織としては

校内委員会

- ・実態を把握する
- ・支援方法、支援体制を考える
- ↓
支援計画の作成
- ・外部の専門機関と連携

通級指導教室

- ・感情を読みとる練習
- ・SST (ソーシャルスキルトレーニング)

マイサポーター制度

担任の先生以外に、相談したい先生を子ども自身が指名する制度。自分の好きな先生に相談できます。

クラスでは

ユニバーサルデザインの授業

- ・見通しを持たせる
- ・短い言葉で指示
- ・絵や図で具体的に指示



道徳や学活の時間を使って

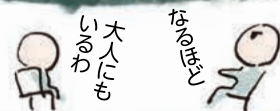
「個性を尊重しよう」
「チクチク言葉はダメ。フワフワ言葉で伝えようね」
「思いやりの心を育もう」

先生たちは

研修会などで勉強

アスペルガーの特徴

- ・コミュニケーションが苦手
- ・相手の気持ちや場の空気を読めない
- ・自分の世界観を持っている



アスペの子は自分と外とをつないでくれる人(キーパーソン)と出会えば、かがやくんだって。学校で、その先で、そういう人と出会えるといいよね。

参考

本 『アスペルガー・ADHD 発達障害 シーン別解決ガイドブック』 司馬理英子著 主婦の友社

web LITALICO(リタリコ)

大人にもいます

仕事の順序がつけられない／物を整理できない
メチャクチャ約束が守れない
うっかりミスが多い

かくいう私も…



自分の特性を知り、
周囲に理解があれば、
支障なく生きていきます!

発達障がいについて知るには

栗原類「発達障害の僕が輝ける場所を

みつけられた理由」角川

分かりやすく書かれているので入門書として。
親や、友達が読むとよいと思います(編集部)

「光とともに… ～自閉症児を抱えて～」
(コミック、ドラマ)

「みんなの学校」<http://minna-movie.jp>
(インクルーシブ教育を実践する学校のドキュメンタリー)

NHK「発達障がいプロジェクト」
<http://www1.nhk.or.jp/asaichi/hattatsu/>
とてもリアルです

ウェブサイト LITALICO <https://h-navi.jp>
様々な相談や、それへの専門的な回答が寄せられています

- ・ 遊びやゲームでルールを学ぶ
- ・ ほめて、自己肯定感を高める
- ・ 指示は具体的に、一つずつ
- ・ 情報をできるだけ整理して伝える
- ◎ じゅんやってサポートするじゅんやです

心や体に変調が見られたら、すぐに医療機関へ。
学習や仲間との生活に不安を感じ、

視覚優位の子には《学習内容を「見える化」します
聴覚優位の子には《声に出したり、何度も聞いたりして覚えます

◎ 早めに専門機関に相談し、
よりよい支援の方向を見つけましょう



「うちの子、ちょっと心配だな…」
と思ったら、
おうちのかたにお願いしたいこと。

発達障がいで困った時に

県の相談機関

希望が丘子ども医療福祉センター

県の発達障がい医療の拠点として、医療の必要な障がい児に対し、専門的な医療支援を行います。

○希望が丘子ども医療福祉センター

〒502-0931 岐阜市則武1816-1 TEL:058-233-7121

子ども相談センター

18歳未満のお子さんの様々な相談に応じます。

○岐阜圏域

中央子ども相談センター

〒502-0854 岐阜市鷺山向井2563-79 TEL:058-201-2111

○西濃圏域

西濃子ども相談センター

〒503-0852 大垣市禾森町5-1458-10 TEL:0584-78-4838

○中濃圏域

中濃子ども相談センター

〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井2610-1 TEL:0574-25-3111

○東濃圏域

東濃子ども相談センター

〒507-8708 多治見市上野町5-68-1 TEL:0572-23-1111

○飛騨圏域

飛騨子ども相談センター

〒506-0032 高山市千島町35-2 TEL:0577-32-0594

発達障がい支援センター

幼児期から学齢期までのお子さんの発達障がいに関する相談をお受けします。

○岐阜圏域

岐阜県発達障害者支援センター

〒502-0854 岐阜市鷺山向井2563-18(岐阜県障がい者総合相談センター内)
TEL:058-233-5116

○西濃圏域

西濃圏域発達障がい支援センター

〒503-0801 大垣市和合新町1-15中村第3ビル302 TEL:090-9228-7395

○中濃圏域

中濃圏域発達障がい支援センター

〒501-3938 関市桐ヶ丘3-2(ひまわりの丘地域生活支援センター内)
TEL:0575-23-2551

○東濃圏域

東濃圏域発達障がい支援センター

〒509-5122 土岐市土岐津町土岐口2087-1ドリームマウンテン1階C号
TEL:0572-54-4230

○飛騨圏域

飛騨圏域発達障がい支援センターそらいろ

〒506-0058 高山市山田町831-43 TEL:0577-35-6780

コンシェルジュ設置機関

発達障がいがある方、発達障がい疑われる方の就労支援を専門に行うコンシェルジュ設置機関

○岐阜圏域

清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ

〒500-8211 岐阜市日野東4丁目10番18号 TEL:058-215-8248

○西濃圏域

西濃障がい者就業・生活支援センター

〒503-2123 不破郡垂井町栗原2066-2 TEL:0584-22-5861

○中濃圏域

ひまわりの丘障害者就業・生活支援センター

〒501-3938 関市桐ヶ丘3-2 TEL:0575-24-5880

○東濃圏域

東濃障がい者就業・生活支援センターサテライトt

〒507-0073 多治見市小泉町2丁目93ルミナス小泉102号室
TEL:0572-26-9721

○飛騨圏域

ひだ障がい者就業・生活支援センターぶらずむ

〒506-0025 高山市天満町4丁目64番地8第一ビル TEL:0577-32-8736

この冊子の編集は『ぶうめらん』が行なっています。

特定非営利活動法人せき・まちづくりNPOぶうめらんでは、小・中学生、が地域と連携して、郷土や自身のキャリアを考える事業を実施しています。「総合的な学習の時間」やPTA事業等、様々な事業を外部から企画運営をサポートすることにより、先生方の負担を軽減しながら、子どもたちや地域に効果のある事業を実施します。ぜひご相談ください。

実施例

○子ども新聞(中学校)

子どもが記者となり、企業訪問をして、その企業の新聞を作成します。

○こども商店街ミュージアム(小学生×商店街)

小学生が、商店街のお店で、お仕事体験をし、それを新聞にする取り組み。

○地域の名物人大集合(小学校)

総合的な学習の時間に、地域の名物の人達を集め、話をする会です。



ぶうめらん
と
い
い
ま
す